

T. K. 大数学 1981

[解] $2^{n-1} \cdot d = a_n + b_n$ の両辺に 2 をかけた。

$$2^n \cdot d = 2a_n + 2b_n = a_{n+1} + b_{n+1}$$

である n の偶奇で場合分けして、 $k \in \mathbb{N}$ とすれば、

1° $n=2k$ の時、 $1 < 2b_n < 2$ だから、

$$\begin{cases} a_{2k+1} = 2a_{2k} + 1 \\ b_{2k+1} = 2b_{2k} - 1 \end{cases}$$

2° $n=2k-1$ の時、 $0 \leq 2b_n < 1$ だから、

$$\begin{cases} a_{2k} = 2a_{2k-1} \\ b_{2k} = 2b_{2k-1} \end{cases}$$

となる。②から

$$b_{2k+1} = 4b_{2k-1} - 1$$

$$\therefore b_{2k+1} - \frac{1}{3} = 4(b_{2k-1} - \frac{1}{3})$$

$b_1 = d$ だから、くり返し用いて、

$$\begin{cases} b_{2k-1} = 4^{k-1} (d - \frac{1}{3}) + \frac{1}{3} \\ b_{2k} = 2 \cdot 4^{k-1} (d - \frac{1}{3}) + \frac{2}{3} \end{cases}$$

$0 \leq b_k < 1$ が任意の k で成立するから、 $d = \frac{1}{3}$ が必要で、逆にこの時、

$$b_{2k-1} = \frac{1}{3}, \quad b_{2k} = \frac{2}{3}$$

で条件を満たす。おて $d = \frac{1}{3}$ である。この時、 b_n と同様に a_n を求めて、($a_1 = 0$ とする)

$$\begin{cases} a_{2k-1} = 4^{k-1} (0 + \frac{1}{3}) - \frac{1}{3} \\ \quad = \frac{1}{3} (4^{k-1} - 1) \\ a_{2k} = \frac{2}{3} (4^{k-1} - 1) \end{cases}$$

第 2 問

[解] $f(x) = x^2 + 3x^2$ とする。7-7の根は左は右図

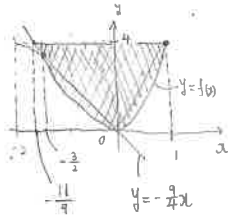
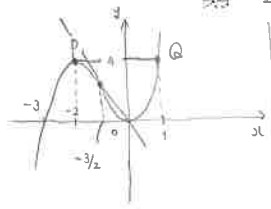
$f(x) = 3x^2 + 3x$ から、 $x = t$ の接線は

$$y = (3t+6)x - 2t^2 - 3t^2$$

となる x が 0 を通るとき

$$2t^2 + 3t = 0 \Leftrightarrow t = 0, -\frac{3}{2}$$

であることに注意すると、接線 OT が D に含まれるお点 T の全領域は右図斜線部 (境界含む) である。辺 OR, OS がこの領域内にあることが必要で、逆にこの時 $\triangle ORS$ は D に含まれる。また R, S は右図斜線部内に行く。



さて $\triangle ORS$ の \max を与える R, S の候補を考えると、まず

S を固定し、 R を $y = kx$ ($k > 0$) 上で固定し、この上で動かす。

OR を底辺とみれば、 $\triangle ORS$ が \max となるのは OR が最大、

つまり R がこの全領域 E の境界上に行く時である。

同様に考えれば、 S も E の境界上の時 $\triangle ORS$ は \max となる。

そこでまず \max を与える R をとめる。 S を境界上で動かす、 $OS = y = kx$

($k \geq 0$) とする。この時 OS と R の内積は $R(x_1, y_1)$ として

$$l = \frac{|kx_1 + y_1|}{\sqrt{k^2 + 1}} = \frac{|-kx_1 + y_1|}{\sqrt{k^2 + 1}} \quad (\because x_1, y_1 > 0, -k < 0)$$

これは x_1, y_1 について単調増加だから、 $\max \triangle ORS$ を与える R の x は

$R(1, 4)$ がある。この時 S と OR の内積を \max にする S もとめればよい。

$S(x_2, y_2)$ として、この時 l_2 とすると、 $OR = y = 4x$ だから

$$l_2 = \frac{|4x_2 - y_2|}{\sqrt{17}} = \frac{-4x_2 + y_2}{\sqrt{17}} \quad (\because x_2 < 0, y_2 > 0)$$

したがって同様に l_2 を \max にする S は $S(-\frac{16}{9}, 4)$ である。

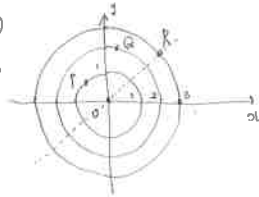
以上から、 $S(-\frac{16}{9}, 4)$ 、 $R(1, 4)$ の時、 $\triangle ORS$ は \max である。

$$\frac{1}{2} \left| 1 \cdot 4 + \frac{16}{9} \cdot 4 \right| = \frac{50}{9}$$

となる。

第 3 問

[解] P, Q が原点 O 上にある時刻を時刻の基準として $t=0$ とする。又この時の R の座標が (3, 0) と仮定して考える。すると時刻 t での各々の座標は



$$P(\cos t, \sin t)$$

$$Q(2\cos 2t, 2\sin 2t) =$$

$$R(3\cos 3t, 3\sin 3t) =$$

とわかる。以下 $S = \sin t$, $C = \cos t$ とする。

$$\overrightarrow{PQ} = \begin{pmatrix} 2\cos 2t - C \\ 2\sin 2t - S \end{pmatrix} \quad \overrightarrow{PR} = \begin{pmatrix} 3\cos 3t - C \\ 3\sin 3t - S \end{pmatrix}$$

だから、サラスの公式より、時刻 t での $\triangle PQR$ の面積 $T(t)$ は

$$\begin{aligned} 2T(t) &= \left| (3\sin 3t - S)(2\cos 2t - C) - (3\cos 3t - C)(2\sin 2t - S) \right| \\ &= \left| 6\sin 3t \cos 2t - 2S \cos 2t - 3C \sin 3t + 3C \\ &\quad - (6\sin 2t \cos 3t - 3S \cos 3t - 2C \sin 2t + SC) \right| \\ &= \left| 6(\sin 3t \cos 2t - \sin 2t \cos 3t) - 3(C \sin 3t - S \cos 3t) - 2(S \cos 2t - C \sin 2t) \right| \\ &= \left| 6 \sin t - 3 \sin 2t - 2 \sin(-t) \right| \\ &= \left| 6S - 3 \sin 2t + 2S \right| \\ &= \left| 8S - 6C \right| = |S| |8 - 6C| \quad \dots \textcircled{1} \end{aligned}$$

$| |$ の中身を $f(t)$ とする。

$$f(t) = 8C - 6\cos 2t = 8C - 6(C^2 - 1) = 2(-6C^2 + 4C + 3)$$

から下表を作る。(1) S, C の周期性から $0 \leq t < \pi$ で考えれば良い) したがって $d = \frac{2 - \sqrt{22}}{6}$ である。

t	0			π
C	1		α	-1
f		+	0	-
f'	0	/	\	0

よって $C = \alpha$ の時

$$|S| = \sqrt{1 - \alpha^2} = \frac{1}{6} \sqrt{10 + 4\sqrt{22}}$$

だから、 $\textcircled{1}$ に代入して

$$\begin{aligned} \max T(t) &= \frac{\sqrt{10 + 4\sqrt{22}}}{6} \cdot \left| 4 - 3 \frac{2 - \sqrt{22}}{6} \right| \\ &= \frac{(6 + \sqrt{22}) \sqrt{10 + 4\sqrt{22}}}{12} \quad \left(= \frac{\sqrt{409 + 22\sqrt{22}}}{6} \right) \end{aligned}$$

$36 + 22 = 58$

第 4 問

[解]

(1) $t \rightarrow 0$ の時を考えるので、 $|\cos 2x| = \cos 2x$ として考えて良い。この時、平均値の定理から、

$$F(t) = \frac{\int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 2x dx}{t} = \frac{\pi}{2} \cos 2p \quad (0 < p < \frac{\pi}{2}t)$$

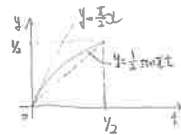
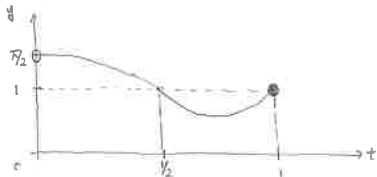
存在する p がある。はたみうちから $t \rightarrow 0$ の時 $p \rightarrow 0$ である。連続性から、

$$F(t) \rightarrow \frac{\pi}{2} \cos 2 \cdot 0 = \frac{\pi}{2} \quad (t \rightarrow 0)$$

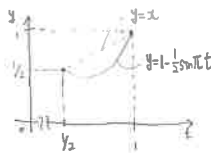
$$\begin{aligned} (2) \quad F(t) &= \begin{cases} \frac{1}{t} \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 2x dx & (0 < t \leq \frac{1}{2}) \\ \frac{1}{t} \left\{ \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 2x dx - \int_{\frac{\pi}{2}}^{\pi} \cos 2x dx \right\} & (\frac{1}{2} \leq t \leq 1) \end{cases} \\ &= \begin{cases} \frac{1}{2t} \sin \pi t & (0 < t \leq \frac{1}{2}) \\ \frac{1}{t} (2 - \sin \pi t) & (\frac{1}{2} \leq t \leq 1) \end{cases} \end{aligned}$$

したがって、前者は $(0,0)$ と $(t, \frac{1}{2t} \sin \pi t)$ を結ぶ直線の傾き、後者は $(0,0)$ と $(t, 1 - \frac{1}{2t} \sin \pi t)$ を結ぶ直線の傾きと等しくなることから、右図と併せて、 $y = F(t)$ のグラフの概形は

下図



$$(y' = -\frac{1}{2t} \sin \pi t \leq 0)$$



$$\frac{1}{2t}$$

したがって、 $F(t) \geq 1$ となる t の範囲は、

$$0 < t \leq \frac{1}{2}, t = 1$$

[解2]

(2) $g(t) = \int_0^{\frac{\pi}{2}} |\cos 2x| dx$ のグラフは、 $(\pm, g(t))$ が y 軸に对称である。 $0 < t \leq \frac{1}{2}$ の時、

$$g(t) = \frac{1}{2} \sin \pi t$$

である。 $y = g(t)$ のグラフは右下の図になる。 $F(t)$ は $(0,0)$ と

$(t, g(t))$ の間を結ぶ。

$$0 < t \leq \frac{1}{2} \text{ or } t = 1$$

